

令和5年度愛媛大学基金の収支について

1. 令和5年度 基金受入状況

(詳細は別紙1～3参照)

(参考)

	令和5年度	令和4年度	令和3年度
受入件数 (実人数)	1,633件 (1,082件)	1,526件 (976件)	1,348件 (799件)
受入金額	314,910千円	197,997千円	126,760千円

目標金額：100,000千円 (医学部創立50周年記念事業及び財物による寄附を除く)

実績：125,014千円

2. 基金の主な取組み

(1) 新たな特定基金の創設

1) 課外活動支援基金 (令和5年7月)

愛媛大学における課外活動の振興及び承認を得た学生団体の活動活性化を目的に、「課外活動支援基金」を創設した。

2) アントレプレナーシップ育成基金 (令和5年12月)

学生を対象としたアントレプレナーシップ教育の実施及び起業家育成への支援を目的に、「アントレプレナーシップ育成基金」を創設した。

(2) 医学部創立50周年記念事業に係る寄附の募集

【受入実績：189,896千円】

愛媛大学医学部が令和5年に創立50周年を迎えるにあたり、記念式典等の事業の成功を祈念した寄附を募集し、多数のご寄附をいただいた。

(3) 冠基金奨学金事業の継続 (令和5年11月、令和6年3月)

「愛媛銀行海外留学応援奨学金事業」(50万円×3年)及び「太陽石油奨学金事業」(1,000万円×5年)の継続が決定し、寄附金の贈呈式を開催した。

(4) 中国・四国地区国立大学法人基金担当部門等実務者連絡会の開催 (令和5年11月)

基金実務担当者のネットワークを構築するため、第1回連絡会を本学で開催し、先進事例や各大学の現状・問題点について情報共有を図った。今後も定期的に勉強会を開催し、担当者の資質向上や基金業務の改善に活用していく。

(5) クラウドファンディングの活用に関する包括契約の締結 (令和5年10月)

クラウドファンディング(以下、「CF」という)を活用した寄附獲得に繋げるため、READYFOR株式会社と包括契約を締結し、令和5年11月に学内セミナーを開催した。

令和6年3～4月に愛媛大学初の研究支援を目的としたCF「人類・鉄創世記―宇宙の賜物・隕鉄を素材とする、原始鍛冶の復活へー」を実施し、目標額4,800千円を大きく上回る9,050千円の支援をいただいた。

(6) 遺贈寄附に関する連携協定の締結 (令和5年7月)

伊予銀行及び愛媛銀行と遺贈寄附に関する連携協定を新たに締結し、提供サービスを拡充するとともに、令和6年1月には、既に締結済みの三井住友信託銀行と併せた3行連係による相続・遺贈セミナーを開催した。

(7) 部局等と連携・協力した企業訪問の実施（令和5年10月～）

工学部や社会共創学部など部局等の職員と基金室と一緒に企業にアプローチすることにより、寄附金をはじめ外部資金の獲得に繋げた。

(8) 愛媛大学基金の管理運営に係る財源の見直し（令和6年1月～）

愛媛大学基金の自立化を図るため、令和6年1月以降の各基金の寄附金から「管理運営経費（上限3%）」を負担いただくこととした。

(9) 教職員からの寄附促進（令和5年12月）

教職員の給与控除による「Monthly One Coin 寄附キャンペーン」の実施等により、教職員からの寄附の増加と寄附意識の醸成に寄与した。

3. 活用状況

(1) えみか夢基金

- ・地域定着促進特別奨学金：5,000千円（200千円×25人）
令和5年度から対象に大学院生を追加（募集人数5人増）
- ・就職活動（キャリア形成ハンドブック作成費用）の支援：2,057千円
- ・学生海外派遣奨学金事業：2,000千円（62人）

(2) 未来教育基金

- ・修学サポート奨学金：536千円（268千円×2人）

(3) 医学部支援基金

- ・医学部創立50周年記念事業：35,764千円
- ・学生教育実習支援事業：20,825千円
- ・研究機器整備事業：5,549千円

(4) ユーカリ基金

- ・農学部会館改修費：14,979千円

(5) 理学支援基金

- ・県内企業紹介誌作成費：715千円

(6) 古本募金事業

- ・学生用図書購入費：100千円

(7) 冠事業

（詳細は別紙4参照）

- ・太陽石油奨学金：10,000千円
- ・愛媛銀行海外留学応援奨学金：700千円
- ・コンピューターシステム株式会社 コロナに負けるな！学生応援奨学金：540千円
- ・関奉仕財団留学支援奨学金：1,080千円
- ・中嶋家（中嶋洋及び先祖のおもひ）研究基盤整備支援事業：5,135千円

<資料>

- ・令和5年度収支報告書（別紙1）
- ・令和5年度月別寄附受入状況（別紙2）
- ・寄附受入状況（グラフ）（別紙3）
- ・令和5年度冠事業実績報告（別紙4）

愛媛大学基金 令和5年度収支報告書

(単位：円)

事 項	前年度から繰入	基金受入額	基金活用額	次年度へ繰越	備考
一般基金	127,482,659	31,560,601	21,214,249	137,829,011	
えみか夢基金	127,482,659	31,560,601	① 21,214,249	137,829,011	
えみか夢基金	126,982,659	8,293,601	5,447,249	129,829,011	
その他	500,000	23,267,000	15,767,000	8,000,000	工学部事項指定
特例基金	0	0	0	0	
特定基金	283,600,467	271,289,000	82,782,535	472,106,932	
未来教育基金	33,849,972	4,430,500	② 800,695	37,479,777	
若手研究者支援基金	12,153,556	1,416,000	224,386	13,345,170	
医学部支援基金	187,293,303	248,933,500	64,145,140	372,081,663	
医学部支援基金	128,495,981	59,037,500	③ 26,913,906	160,619,575	
三井住友コロナ対応応援寄附金	3,628,529	0	1,466,863	2,161,666	
医学部創立50周年記念事業	55,168,793	189,896,000	④ 35,764,371	209,300,422	
基礎医学研究推進基金	2,510,295	1,327,000	12,496	3,824,799	
ユーカリ基金	22,629,689	3,943,500	⑤ 16,088,154	10,485,035	
紙産業研究教育基金	4,617,280	10,000	5,520	4,621,760	
四国遍路研究基金	2,368,919	276,000	10,053	2,634,866	
附属学校園支援基金	1,443,535	148,500	10,884	1,581,151	
地域創生基金	2,471,309	35,000	720	2,505,589	
施設維持管理基金	626,115	0	0	626,115	
理学支援基金	1,644,717	997,000	⑥ 818,852	1,822,865	
データサイエンスみらい基金	11,990,929	7,100,000	648,387	18,442,542	
広報人材育成基金	848	110,000	2,040	107,960	
課外活動支援基金	-	2,364,000	12,957	2,351,043	新設
アントレプレナーシップ育成基金	-	198,000	2,251	195,749	新設
その他基金活動	37,374,064	11,788,359	17,556,720	31,605,703	
財物	0	0	0	0	
遺贈	0	0	0	0	
古本募金事業	408,646	208,359	⑦ 102,140	514,865	
クラウドファンディング	0	0	0	0	
冠事業	36,965,418	11,580,000	17,454,580	31,090,838	
太陽石油奨学金事業	10,000,000	10,000,000	⑧ 10,000,000	10,000,000	
愛媛銀行海外留学応援奨学金事業	500,000	500,000	⑨ 700,000	300,000	
コンピューターシステム株式会社 コロナに負けるな！学生応援奨学金事業	889,420	0	⑩ 540,000	349,420	
関奉仕財団留学支援奨学金事業	0	1,080,000	⑪ 1,080,000	0	
中嶋家（中嶋洋及び先祖のおもひ） 研究基盤整備支援事業	25,575,998	0	⑫ 5,134,580	20,441,418	
基金運用益	374,546	271,745	36,643	609,648	
合計	448,831,736	314,909,705	121,590,147	642,151,294	

5年度末 累計受入総額	5年度末 累計活用総額
1,262,403,061	620,251,767

参考)

- ①地域定着促進特別奨学金25人（5,000千円）キャリア形成ハンドブック作成費（2,057千円）、ほか ②修学サポート奨学金2人（536千円）ほか
 ③学生教育実習支援事業（20,825千円）、研究機器整備事業（3,242千円）ほか ④医学部創立50周年記念事業（35,764千円）
 ⑤農学会館改修（14,979千円）ほか ⑥県内企業紹介誌作成費（715千円）ほか ⑦学生用図書購入（100千円）ほか ⑧奨学金20人（10,000千円）
 ⑨奨学金7人（700千円） ⑩奨学金3人（540千円） ⑪奨学金4人（1,080千円） ⑫研究基盤設備支援事業（5,135千円）

令和5年度月別寄附受入状況

愛媛大学基金 愛称：愛大(あいだい)基金	参考 (R4年度)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
一般基金	27,615	975	62	5,231	2,294	9,224	239	1,238	956	607	1,027	839	8,872	31,561
えみか夢基金	27,615	975	62	5,231	2,294	9,224	239	1,238	956	607	1,027	839	8,872	31,561
特定基金	128,887	6,766	6,696	8,830	7,701	27,004	110,431	11,684	8,618	15,192	4,542	412	63,422	271,289
未来教育基金	16,213	448	242	200	454	173	67	127	1,527	746	300	30	120	4,431
若手研究者支援基金	7,054	76	1,021	17	16	21	6	6	108	67	66	6	6	1,416
医学部支援基金 (医学部創立50周年 記念事業)	100,367 (50,809)	4,942 (4,840)	4,677 (4,565)	8,469 (5,990)	7,115 (6,488)	26,344 (26,322)	110,067 (109,985)	11,244 (11,102)	6,796 (6,754)	10,854 (10,720)	3,054 (3,030)	253 (100)	55,120 -	248,934 (189,896)
基礎医学研究推進基金	766	20	510	110	10	20	10	10	10	510	10	67	40	1,327
ユウカリ基金	1,940	1,193	121	11	96	1	1	21	31	1,434	1,023	4	9	3,944
紙産業研究教育基金	121	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	10
四国遍路研究基金	308	26	5	0	0	45	0	70	74	31	5	10	10	276
附属学校園支援基金	264	0	0	23	0	20	0	21	0	47	11	12	17	149
地域創生基金	51	0	10	0	0	0	0	20	0	5	0	0	0	35
施設維持管理基金	176	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
理学支援基金	1,624	51	10	0	10	380	280	165	51	10	10	30	0	997
データサイエンス みらい基金	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1,000	0	0	6,100	7,100
広報人材育成基金	1	10	100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	110
課外活動支援基金	-	-	-	-	0	0	0	0	11	353	0	0	2,000	2,364
アントレプレナー シップ育成基金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	135	63	0	0	198
その他の基金活動	41,495	52	19	1	31	1,085	45	11	506	32	6	0	10,273	12,060
財物 【特別基金】	51	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
遺贈	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
古本募金事業	142	52	19	1	31	5	45	11	6	32	6	0	1	208
クラウドファンディング	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
冠事業	41,080	0	0	0	0	1,080	0	0	500	0	0	0	10,000	11,580
基金運用益	222	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	272	272
合計	197,997	7,792	6,776	14,061	10,025	37,312	110,715	12,932	10,082	15,829	5,573	1,249	82,565	314,910

※基金毎の毎月の表示は、四捨五入による整理。縦軸の合計及び横軸の計欄は、累計額を四捨五入し整理しており、表示上合致しないことがある。

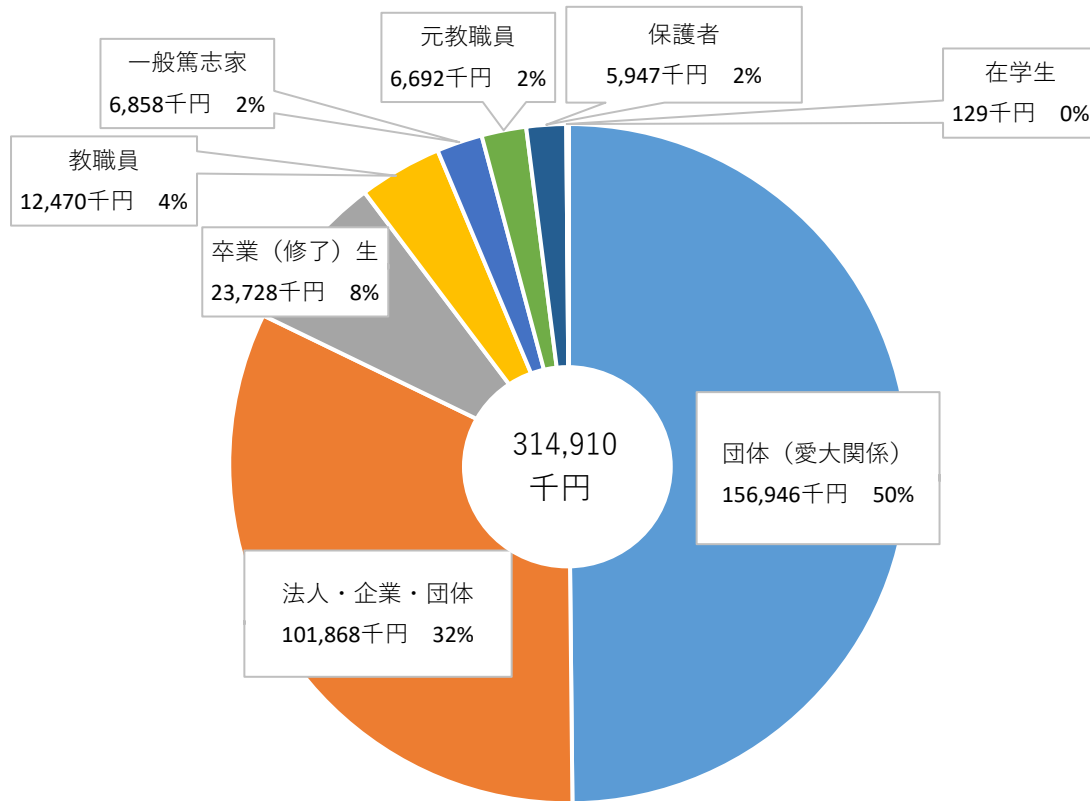
(単位：千円)

参考 受入(累計)状況 平成28年度182,088千円、平成29年度96,432千円、平成30年度95,794千円、令和元年度84,580千円、令和2年度163,843千円、令和3年度126,760千円、令和4年度197,997千円、令和5年度(本年度)314,910千円 累計1,262,403千円

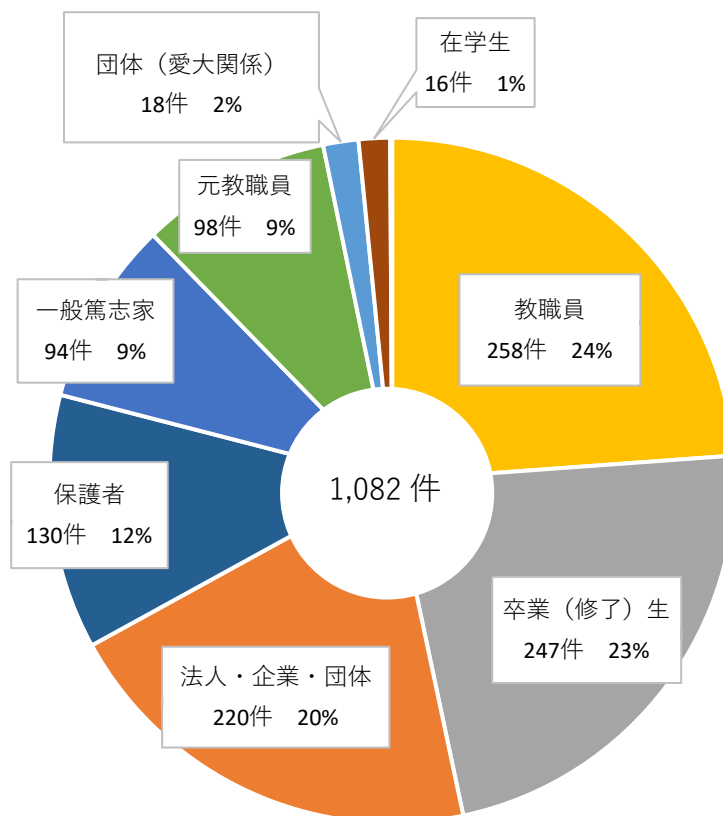
税額控除対象事業

令和5年度寄附者別寄附受入状況

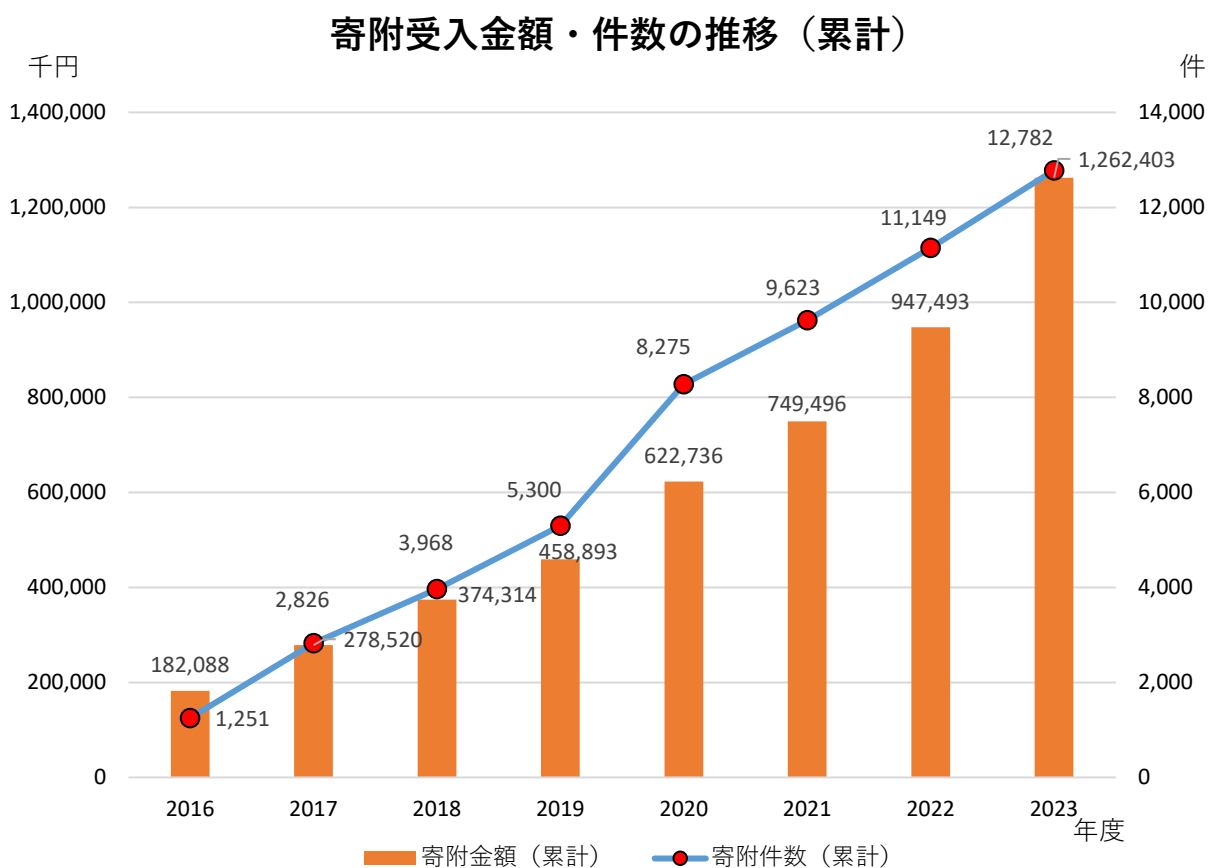
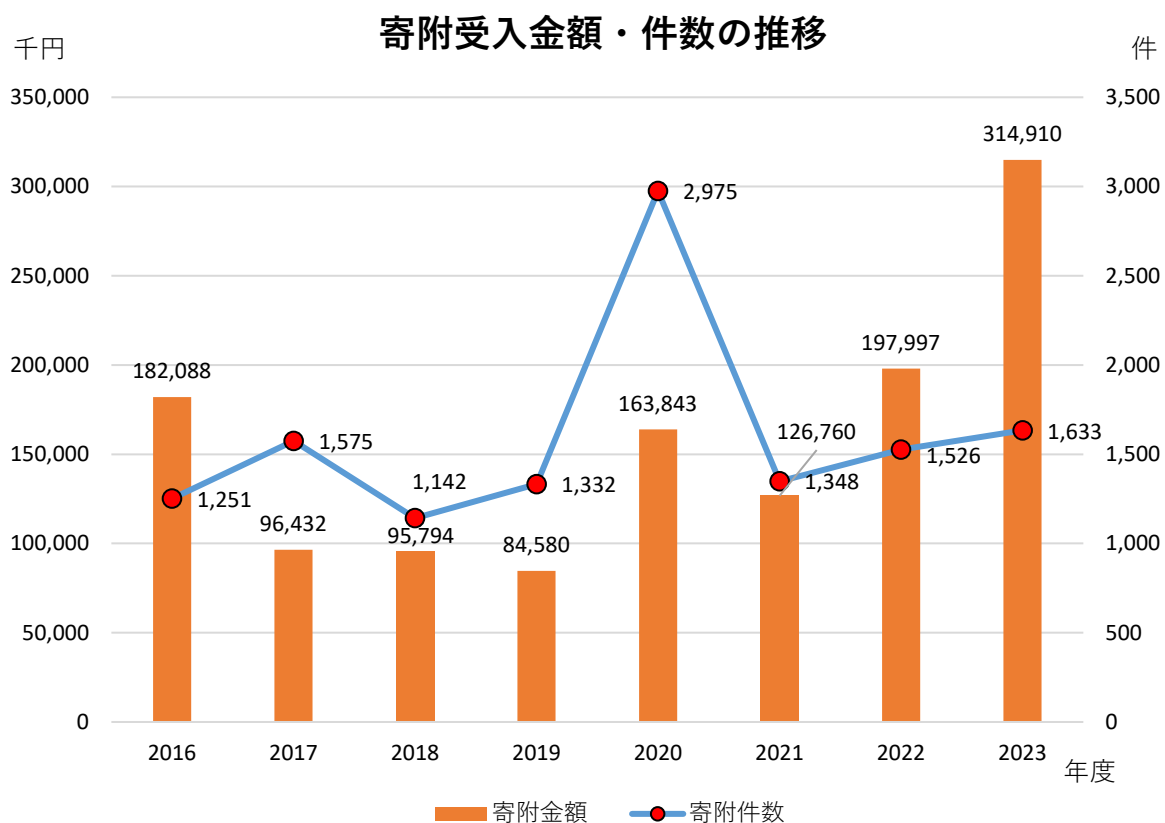
寄附者別受入状況（金額）



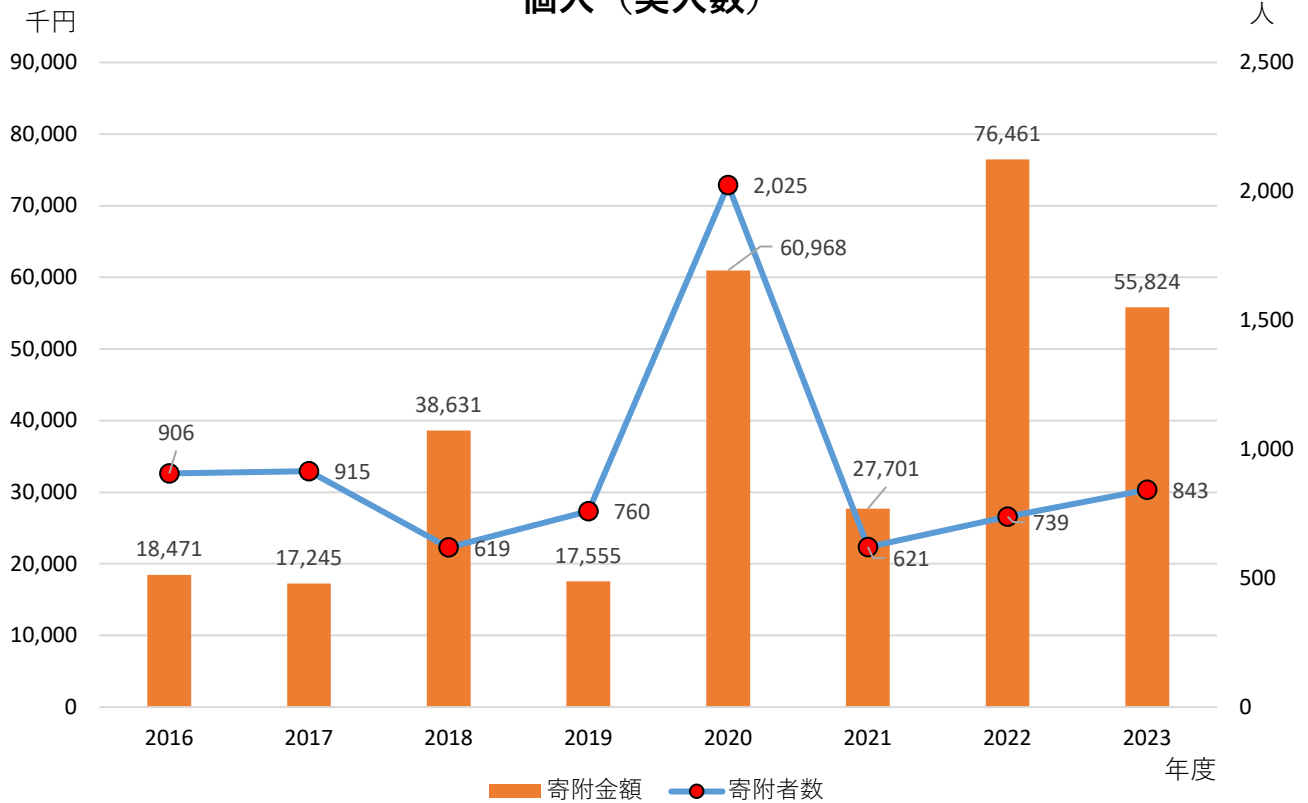
寄附者別受入状況（件数（実人数））



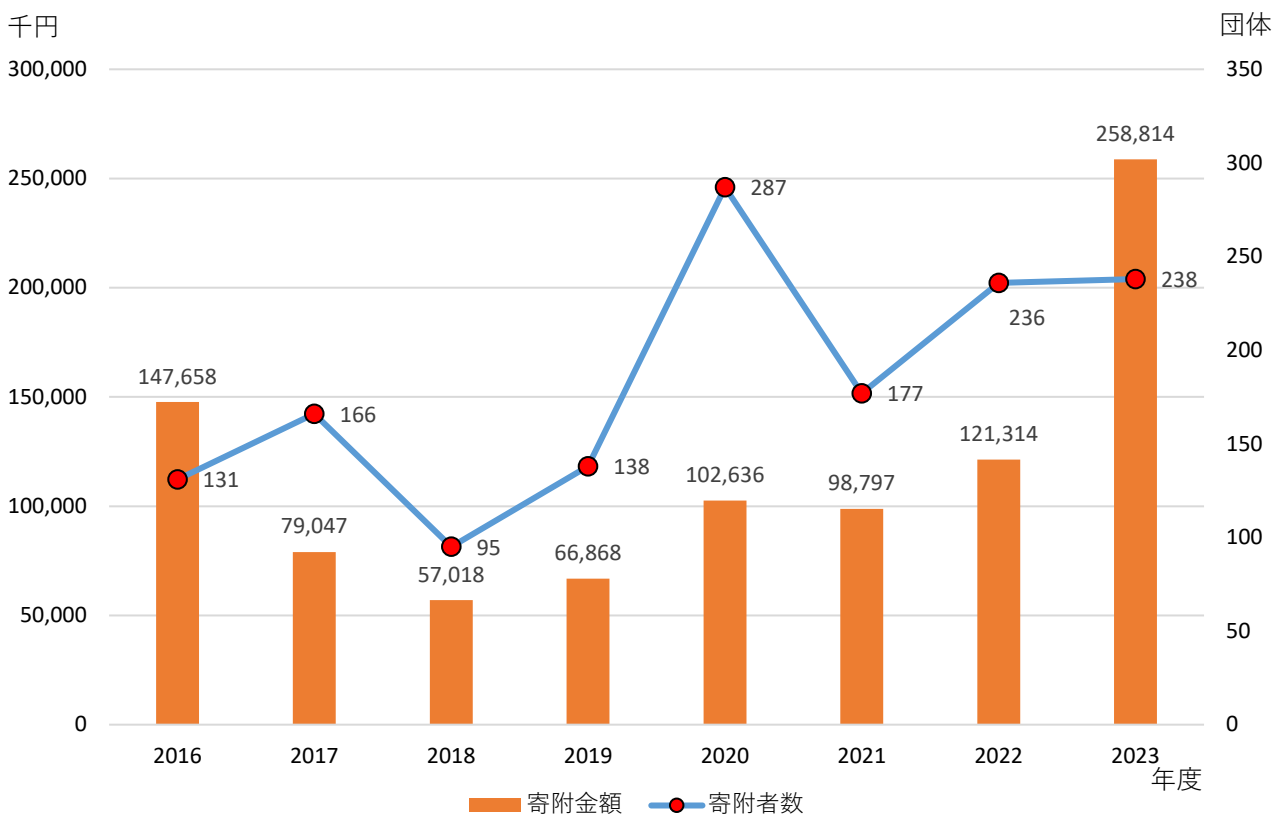
寄附受入状況の推移



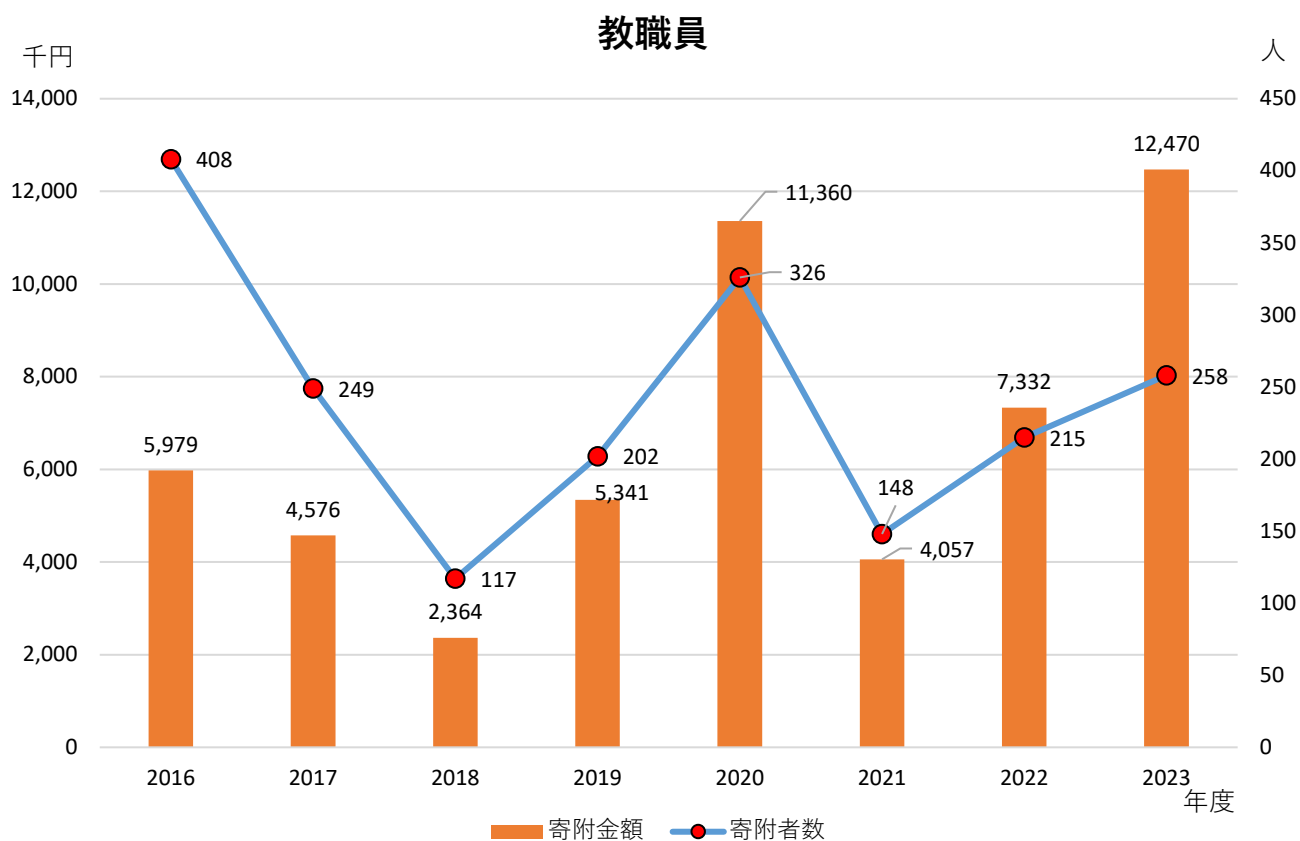
個人（実人数）



法人・企業・団体



教職員からの寄附受入状況の推移



令和5年度冠事業実績報告

太陽石油奨学金事業

目的	ア) 学業に専念できるような環境づくりを支援 イ) 生産拠点のある愛媛県に立地する国立大学法人愛媛大学の人材育成機能を期待
奨学金の種類	給付型奨学金
給付人数	20人
給付金額	50万円
支援総額	1000万円

愛媛銀行海外留学応援奨学金事業

目的	海外留学を行う学習・研究意欲のある学生が、留学先でより充実した環境下で勉学に励むことができるよう、海外留学に係る準備の支援
奨学金の種類	給付型奨学金
給付人数	7人
給付金額	10万円
支援総額	70万円

コンピューターシステム株式会社コロナに負けるな！学生応援奨学金事業

目的	海外留学を希望する日本人学生が学業に専念できる環境づくりを支援するとともに未来を担う人材育成を支援
奨学金の種類	給付型奨学金
給付人数	3人
給付金額	18万円
支援総額	54万円

関奉仕財団留学支援奨学金事業

目的	外国人留学生や海外留学を希望する日本人学生が学業に専念できる環境づくりを支援するとともに未来を担う人材育成を支援
奨学金の種類	給付型奨学金
給付人数	外国人留学生 2人 日本人学生 2人
給付金額	外国人留学生 36万円 日本人学生 18万円
支援総額	108万円

中嶋家（中嶋洋及び先祖のおもひ）研究基盤整備支援事業

目的	研究設備・機器の修理、修繕または改修による研究基盤整備支援
支援総額	513万円

令和5年度中嶋家(中嶋洋及び先祖のおもひ)研究基盤整備支援事業 整備対象研究設備・機器一覧(実績報告)

整理No.	部門名	機器名(規格・社名)等	主な用途	整備の必要性・効果	機器等の写真	年間利用数 (利用人数・利用時間)	取得金額 (税込):円	取得日	修理完了日	金額(税込):円	整備の効果(詳細ならびに客観的に分かる数値 (修理前後の利用件数の推移等))
1	物質科学研究支援部門	単結晶X線装置(リガク製VariMax Saturn)	構造解析	単結晶X線装置としては、学内唯一の共用設備であり、繁忙期には土日・夜間も毎日稼働し、学内だけでなく学外依頼測定(年間80件程度)も多く受けている。今回のコンプレッサー、電磁弁の修理により液体窒素温度での測定が引続き可能となる。		2021年度:361件 2022年度:328件 2023年度:254件 (2023年度は4-11月利用分)	55,933,500	2010/2/25	2024/3/11	663,300	部品交換後、順調に使用できている。2023年度は、学内利用257件、学外利用96件、合計353件の利用があった。装置移設に伴う装置停止期間中(2/26~3/14)も依頼測定の問合せが多く寄せられており、2024年度も同等の利用が見込まれる。
2	遺伝子解析研究支援部門	動物飼育室給排気ファン修理	動物飼育室の給排気	食品健康機能研究の教育研究に貢献するとともに、地域の農林水産業、食品産業、健康産業を活性化し、産学官連携による食品科学地域連携拠点の中核となる。		約30名・常時稼働	※センターの建物が竣工された当時からあるため取得金額が不明	※センターの建物が竣工された当時からあるため取得日が不明	2024/4/22	636,900	整備の効果: 修繕前は設備の経年劣化により異音が発生する恐れがあった。修繕後はその異音がなくなること、動物飼育室の給排気を常時稼働することができ、教育研究に係る制限がなくなり清潔な環境をより保つことができ、食品機能の研究における動物実験を再開することができるようになる。
3	医科学研究支援部門	凍結マイクローム(CM1950・ライカ)監視済み	凍結切片の作成に用いる。	本機器故障により、受託業務で使用する凍結マイクローム(3階解析室に設置)を、ユーザーが使用するようになっており、イメージング分野の業務遂行に支障がでている。本装置の修理によって、受託への影響が避けられ、安定した研究支援を行うことが可能となる。		R4年度 84件 215時間 R3年度 35件112時間 R2年度 35件82時間	除却済みのため不明	除却済みのため不明	2024/3/19	1,425,600	故障の原因となっていた、コンプレッサー、バルブ等を交換、ガス封入を行い、冷却動作確認作業を行った。冷却機能は修理前-18℃から、修理後-31℃まで改善したことを確認した。今回の整備により、利用者が受託業務用のマイクロームを使用する必要がなくなり、受託への影響が避けられ安定した研究支援を行うことが可能となった。
4	応用タンパク質研究支援部門	ジェネティックアナライザ(3130, Applied Biosystems)	DNA配列の解析	本装置は工学部、プロテオサイエンスセンターなどの学生、教職員がDNA配列の確認、遺伝子多型の解析に利用している。現在、本装置は温度調節装置が故障し、使用できない。すでにメーカーの修理保証期間は終了しているが、温度調節装置は修理可能である。最も重要で高価な部品であるレーザは2022年に交換し、あと2年程度は使用できる見込みである。本装置の後継として、キャピラリーシーケンサー(Spectrum Compact CE System)を2022年12月に導入した。新機種を導入後も、予約数が多いため本装置も継続して運用していた。本装置が故障したことで、新機種の予約が大変混み合っている状況である。温度調節装置を修理することで本装置を再稼働することができれば、予約の混雑状況が改善され、費用対効果は大きい。		589件(R4年度)	17,010,000	2010/3/25	2024/2/7	870,980	整備により正常に稼働することが可能になった。2月7日に復旧した後、3月26日までの利用件数は15件である。昨年度の同時期と比較して利用件数はまだ少ないので、本装置が復旧したことを利用者にアナウンスして、利用促進に務める。

整備完了はR6年度

整理No.	部門名	機器名(規格・社名)等	主な用途	整備の必要性・効果	機器等の写真	年間利用数 (利用人数・利用時間)	取得金額 (税込):円	取得日	修理完了日	金額(税込):円	整備の効果(詳細ならびに客観的に分かる数値 (修理前後の利用件数の推移等))
5	物質科学研究支援部門	紫外可視近赤外分光光度計(島津製作所・SolidSpec3700)	透過率・反射率測定	本来は、190～3300 nmの波長領域の測定が同時に可能な分析装置であるが、直接受光ユニットDDU-3700のPbs検出器不良のため1650nm以上(近赤外領域)での分析ができない状況が続いている。		2021年度:50件 2022年度:33件 2023年度:72件 (2023年度は4-11月利用分)	3,909,600	2016/2/19	2024/2/29	277,200	検出器の修理後、正常に機能することを確認した。装置移設に伴い修理直後に装置が停止(2/29～3/22)していたため、修理後の利用件数は0である。2023年度の利用件数は100件、利用学部も理学部・先端研・社会共創・農学部と多岐にわたり今後も継続して利用が見込まれる。
6	医学科学研究支援部門	透過型電子顕微鏡(JEM1230・日本電子)	生物試料の微細構造の観察のために用いる。高倍率(10万倍程度)までの観察が可能で、光学顕微鏡では観察できない微細構造の詳細な観察が可能である。	真空排気系の制御に使用されるピラニゲージの経年劣化により、試料交換に15分程度の時間を要する状態に陥っている。さらにピラニゲージの劣化が進んだ場合、観察が不可能となる。交換部品の生産が終了しており、早急な部品交換が必要である。整備により高額の機器の継続的、安定的運用が可能となる。また、試料交換時間の短縮による利便性向上により、ユーザーの利用促進につながると考えられる。		R4年度 67件 287時間 R3年度 46件 178時間 R2年度 118件 486時間	22,018,992	2004/04/01	2024/3/12	326,700	試料室ピラニゲージ交換及び調整を行った。真空度が修理前35から修理後25へ改善した。試料交換時間が15分程度から2分に短縮された。今回の整備により機器の継続的、安定的運用が可能となった。また、試料交換時間短縮による利便性向上により、ユーザーの利用増加が見込まれる。
7	医学科学研究支援部門	ドラフトチャンバー(AFG-SBT-1200ES・オリエンタル技研工業) 除却済み	受託試料作製に使用する。	受託試料作製時に使用する。風量が基準値以下となっており、受託試料作製に支障をきたす状況となっている。従事者が安全に試薬を取り扱えるようにするため、修理が必要。			除却済みのため不明	除却済みのため不明	2024/2/19	495,000	故障の原因となっていたプレフィルター、活性炭交換、及び屋上排気ファンの調整を行った。これらの整備により、差圧計の数値が修理前240Paから修理後70Pa、排気面速測定が修理前0.24m/sから修理後0.67m/sへと改善した。整備により特定化学物質等障害予防規則に定められた基準値を上回る排気が確認され、試料作製時における従事者の安全性が向上した。今後、試料作成効率向上により受託件数増加が見込まれる。
9	医学科学研究支援部門	真空凍結乾燥機FZ-2.5(LABCONCO) 真空ポンプの更新	研究サンプルの凍結乾燥	本機器は近年利用件数が伸びており、ほぼ毎日稼働している状況。昨年度はポンプオイルに水が大量に混入してオイルが吹き出す故障やオイルドレインボルトの劣化によるオイル漏れが発生している。		2023年度:35件(12月現在) 2020年度:44件 2021年度:22件 2019年度:0件	871,020	2017/3/16	2024/2/27 (真空ポンプの更新)	438,900	真空ポンプの更新前は凍結乾燥機が真空になるまでの所要時間が5～10分を要していたが、更新後は約2分に短縮された。真空の威力が増したことで、凍結乾燥時間の短縮による利用件数の増加が期待できる。
									計	5,134,580	

令和5年度予算額 5,577,998円 (令和4年度繰越575,998円、令和5年度えみか基金分2,000円を含む)

令和5年度支出額 5,134,580円 (令和6年度修理完了分を含む)

令和6年度繰越額 443,418円